

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94+1111
事業コード		事務事業名	岡崎市交付金事業	
根拠法令等	岡崎市との覚書	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	1年間に56日間の開催権を有する岡崎市に対し
手 段	蒲郡競艇の売上から生ずる収益金を適正に配分(自場開催分収益の25%)することで
想定する成果	両市の均衡と競艇事業の円滑な運営を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
交付金算定方法	蒲郡市と岡崎市開催の売上高 (BP川崎と場外委託を除く) ×1/100	蒲郡競艇自場開催収益金の 25%を配分(激変緩和措置 で場外受託併売収益1/6追加)	蒲郡競艇自場開催収益金の 25%を配分(場外受託発売 の収益金は配分しない)

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	岡崎市への交付金(変更前)	岡崎市への交付金(変更後)
成果指標の説明	(蒲郡市開催+岡崎市開催)売上高×1/100	収益配分(自場開催に伴う収益金の25%)

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	398,160	—	—
	実績	392,326	—	—
成果指標 ②	計画	—	50,000	50,000
	実績	—	345,000	未定
事業費	事業費	392,326	345,000	50,000
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	393,933	346,609	51,591
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	393,933	346,609	51,591

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	3	平成17年度から収益配分方式を導入、当初予算に対し規制緩和でナイター52日増と算定方法変更に伴う激変緩和措置もあり、対前年比大幅な変動はなかったが将来的には均衡の取れた配分方式となる。
経済効率性	2	2	公営競技の事業収益が大幅に悪化している現状から、蒲郡競艇の開催権を持つ2市の収益配分方式導入は経済的に合理性を有する。
事務効率性	1	2	収益配分方式では、最終的決算数値がある程度見込める段階にならないと算定が困難なため、事務効率は必ずしもよくない。
必要性	3	3	今後、競艇事業を円滑、安定的、且つ継続的に運営していくうえで必要な事業である。
小計	8 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	8 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	従来の岡崎市交付金算定方式は、競艇事業収益にかかわりなく売上金の1/100を交付するものであった。近年の急激な収益悪化に伴い、平成17年度から収益配分方式を導入することができ、将来的にも合理的、且つ均衡の取れた配分方式になるものとする。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成14年度に場間場外発売受託金を交付金算定の対象外とした。さらに平成17年度からは従来売上金の1/100交付を改め収益配分方式を導入した。（但し、平成17年度のみ激変緩和措置として場間場外発売併用発売収益金の一部を追加配分した）	平成17年度決算ベースで37,428千円の縮減（激変緩和を加えると、92,908千円の縮減）となる。

⑧今後改善すべき点

今後しばらくの間、経過を見守る必要がある。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94+1121
----	-------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	周辺地区対策事業				
根拠法令等	周辺地区生活環境整備事業費補助金交付要綱・競艇事業運営協力交付金交付要綱		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	競艇周辺地区
手 段	競艇事業協力交付金及び環境整備事業補助金を交付することによって
想定する成果	競艇場周辺地区の環境整備及び競艇事業のスムーズな実施を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
周辺地区生活環境整備事業費補助金	地区生活環境整備事業、塩津公民館活動および塩津総代会活動、その他競艇に関する環境整備に必要な事項		
競艇事業運営協力交付金	車両不法駐車等の予防、車両駐車等の誘導、通学路の確保及び学童等安全誘導、各種犯罪および迷惑行為の予防と警戒、生活環境の保全および整備、社会教育活動の育成、その他競艇事業運営に協力すべき必要な事項		

④成果指標

成果指標名	①	②
	交付金等対象地区数	補助金・交付金額
成果指標の説明	交付金等対象地区数	補助金・交付金額

⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	10件
	実績	10件	10件	—
成果指標 ②	計画	12,070	12,070	12,070
	実績	12,070	12,070	
事業費	事業費	12,070	12,070	12,070
	人件費	4,018	4,022	3,978
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	16,088	16,092	16,048
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	16,088	16,092	16,048

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	ナイターレース開催日数を前年より52日増の152日間開催できる等地元協力、理解が得られた。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	競艇開催する上において、競艇場周辺地区住民の理解が必要である。
小計	12 /12 満点中	12 /12 満点中	
市民参加度	3	3	周辺地区の総代ほか代表者に年3回程度参集していただき、意見を聞くよう努めている。
合計	15 /15 満点中	15 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	長引く景気低迷による公営競技の売り上げが年々落ち込む中、ナイターレースに係る電話投票は売り上げを大きく左右している。ナイターレース開催に周辺地区も非常に理解を示している。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

⑧今後改善すべき点

競艇周辺地区のみが対象で、市民からすると不公平ではないかとの声がある。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94+1111
事業コード		事務事業名	場間場外発売委託事務事業	
根拠法令等	地方自治法第252条の14第1項	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市・岡崎市営のモーターボート競走を
手 段	全国23競艇場の施行者に場間場外発売事務の執行、管理を委託し
想定する成果	競艇事業収益の増加による、本市自主財源の確保を図る

③事業の概要

(千円)

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
場間場外売上額 (収益額)	20,281,181 (625,056)	12,309,518 (267,560)	12,290,000 (269,876)

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	場間場外委託発売売上額	場間場外委託発売収益額
成果指標の説明	場間場外委託発売の売上金	場間場外委託発売の収益金

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	18,774,000	6,500,000	12,290,000
	実績	20,281,181	12,309,518	—
成果指標 ②	計画	407,570	121,329	269,876
	実績	625,056	267,560	—
事業費	事業費	4,608,007	2,928,706	2,999,124
	人件費	5,625	5,631	5,569
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	4,613,632	2,934,337	3,004,693
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,613,632	2,934,337	3,004,693

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	平成17、18年度とSGレース開催はないものの、開催場が少ないナイターレースの強みで多くの協力場外を得て、平成17年度周年レースでは節間売上等の新記録を達成するなど大きな成果を挙げた。
経済効率性	3	3	場外発売委託により各競艇場収益の40%が蒲郡競艇の収益となるため、場外発売売上増＝収益増という図式で非常に経済的であり、安定、且つ確実な収益の確保が見込まれる。
事務効率性	2	2	各施行者間で場間場外発売の協議が整い事務委託が交わされれば、その後は収益計算や事務委託費の精算等、若干の事務量で収益を確保することができ、大変効率的である。
必要性	3	3	今後も積極的に展開、実施すべきである。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	各施行者間の広域発売促進（場間場外発売（委託、受託）等の拡大）は大きな時代の流れであり、今後益々の「発売形態多様化」が予想されることから、引き続き積極的な場外発売委託事業の推進が望まれる。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
場外協力場確保のため、市長を筆頭に出張等の折には積極的に他場を訪問し、昼夜併売、リレー発売等による場間場外発売の協力要請をおこなってきた。また、場間場外発売事務委託費の正確な算定や速やかな精算等、事務効率を高めるため日頃から事務改善に努めている。	

⑧今後改善すべき点

平成18年にはナイター場が全国4場となり、開催日程競合による収益率の悪化が予想されることから、発売形態多様化への対応とその推進が要求される。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

今後ますます場外協力場を確保するため、出張等の折には積極的に他場を訪問し、昼夜併売、リレー発売等による場間場外発売の協力を要請する「販売促進活動」の展開が必要であり、そのためには旅費等の予算計上が不可欠である。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	94+1111
事業コード		事務事業名	競艇事業の決算状況等調査事務事業	
根拠法令等	総務省自治財政局長通知ほか	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	国、県、全国モーターボート施行者協議会などからの依頼に対し
手 段	競艇事業の収支決算に関する各種統計資料を作成、提供することにより
想定する成果	経営状況の把握と、公営企業の健全運営に対する的確な指導を仰ぐことができる

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
決算状況、経営改善計画策定等調査件数	4件	4件	5件

④成果指標

成果指標名	① 決算状況、経営改善計画等調査件数	②
成果指標の説明	公営企業事業会計決算状況調、経営改善計画策定等の調査件数	

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	4件	4件	5件
	実績	4件	4件	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	19	19	24
	人件費	3,214	3,218	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	3,233	3,237	3,206
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,233	3,237	3,206

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	各種決算統計調査の集計結果は冊子等により適宜公表されており確認、分析が可能であるが、具体的若しくは個別的経営改善策等の提言があるとより好ましい。
経済効率性	2	2	年度末から出納閉鎖、そして決算という例年の流れの中で調査が行われる場合は、各種調査表作成に伴う事務量にも無駄がなく経済効率も高い。
事務効率性	2	2	調査時期の問題とは別に調査表作成のための資料収集が非常に煩雑であるため、資料分析と各種帳票の作成を分割共有することで事務効率を高めている。
必要性	3	2	市が地方公営事業として競艇事業の施行者であり、経営者として市が実施すべき事業である。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	決算の実績に基づく数値、統計資料であることから、より詳細な状況の把握と今後の経営改善に役立つものとする。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
毎年行われる調査では、調査表等作成に要する時間をできるだけ短縮するためエクセル等の集計様式を導入、より効率的な作表と集計のシステム化に心がけている。	

⑧今後改善すべき点

平成18年度から財務会計が事務事業評価に対応した予算組立に変更された。そこで、収支決算集計システムの新方式への移行が改めて必要である。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	2102
事業コード		事務事業名	場内設備運転管理事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	ファンのために
手 段	場内施設の各設備を適切に運転管理を行い
想定する成果	故障を未然に防ぎ、レース開催に支障のないようにする。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
機器運転管理委託料	38,763千円	38,763千円	41,480千円
昼夜併売、時間外相当分	337千円	1,458千円	—
通常、時間外相当分	2,032千円	1,174千円	—

④成果指標

	①	②
成果指標名	昼夜併売に伴う増加委託料（時間外相当分）	①を除く委託料（通常時の時間外相当分）
成果指標の説明	昼夜併売に伴う増加委託料の金額 （昼夜併売時の時間外相当分）	①を除く委託料の金額 （通常時の時間外相当分）

⑤事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別会計）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	併用発売 100日間	併用発売 109日間	併用発売 95日間
	実績	昼夜併売 12日間 337	昼夜併売 58日間 1,458	昼夜併売 101日間 未確定
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	2,032	1,174	—
事業費	事業費	41,132	41,395	44,180
	人件費	8,036	8,044	7,956
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	49,168	49,439	52,136
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	49,168	49,439	52,136

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	建物の構造上、空調効果が少ないところがある。
経済効率性	2	2	管理施設が広範囲なため保守員の分散配置が必要で経費がかかる。また、昼夜併売日数の増加に伴い委託料が増加している。
事務効率性	2	2	運転機器の中に遠方監視の出来ないものがあり、点検作業に時間がかかる。
必要性	3	3	適切なレース開催をするため必要不可欠である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額					
いままで昼夜併売の場合、職員2名及び委託業者2名が朝から出勤し時間外で対応していた。H18年度からは、昼夜併売の増加及び職員1名減に伴い、職員の勤務体制を朝から1名出勤し、夕方帰るようにしている。						
	H16年度		H17年度		H18年度	
昼夜併売日数	12	日	58	日	101	日
委託時間外料	337,184	円	1,458,360	円	—	円

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	2102
事業コード		事務事業名	場内施設整備事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	ファンのために
手 段	老朽化した施設の改修、整備を実施し
想定する成果	安全、且つ快適な環境を提供する

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
工 事 件 数	71件	55件	
工 事 金 額	212,307千円	262,247千円	193,200千円
修 理 件 数	93件	120件	—
修 理 金 額	48,814千円	50,729千円	54,688千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	工事件数	修理件数
成果指標の説明	新設及び改修工事の件数	設備機器の修理件数

⑤事業の進捗状況

（モーターボート競走事業特別会計）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	71件	55件	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	93件	120件	—
事業費	事業費	251,121	312,976	247,888
	人件費	10,447	10,457	10,343
	(人数)	1.3	1.3	1.3
	合計	261,568	323,433	258,231
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	261,568	323,433	258,231

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	施設全般が老朽化しているため、年次計画を作成し順次改修する必要がある。
経済効率性	2	2	開催日を避けて工事を行う必要性から必然的に工期が長くなり、経費がかさむ。
事務効率性	2	2	非開催日に工事が集中するため十分な工事管理ができない。また、担当者も休日に出勤せざるを得ず、勤務条件が厳しくなる。
必要性	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
H17年度に実施した主な整備事業 ・ 競技部改修工事 145,302千円 ・ 防風柵設置工事 33,410千円 ・ 投票所窓口改修工事 8,989千円	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強工事（施設全般） ・ 空調機熱源更新（中央館・東館） ・ 大時計更新
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強工事設計委託（平成18年度、耐震診断に基づき概算補強費用を算出予定）
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	経営企画課	内線等	2102
事業コード		事務事業名	周辺地区防犯灯設置事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡競艇場周辺地区住民のために
手段	地元からの要望が強い防犯灯の新設、修理を実施することにより
想定する成果	地域住民の安全を図る。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
工事件数	19件	13件	26件
工事金額	763千円	767千円	1,478千円
修理件数	436件	338件	500件
修理金額	2,627千円	2,408千円	3,000千円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	工事件数 新設、移設等の件数	修理件数 ランプ取替件数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	26件	26件	26件
	実績	19件	13件	—
成果指標 ②	計画	—	—	500件
	実績	436件	338件	—
事業費	事業費	3,390	3,175	4,478
	人件費	3,214	3,218	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	6,604	6,393	7,660
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,604	6,393	7,660

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	地区総代の皆さん等と現地確認し予算の範囲内で優先的に設置している。経費的には既設置灯数が多いため、修理件数のほうが多い。
経済効率性	2	2	防犯灯新設は自立型をやめ共架型にすることで、工事費の節減を図っている。
事務効率性	2	2	修理契約を地区ごとに分割しているため、事務量が多い。
必要性	2	2	ナイターレース開催日の増加に伴い、地域住民の安全確保を確保するため必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	0	周辺対策協議会で地元要望を聴取している。
合計	10 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
新設工事を地、区別でなく一括で契約することにより事務量を減らした。	

⑧今後改善すべき点

修理契約を地区別ではなく、一括契約にして事務量を減らす。（H17年度修理契約数9件）
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】